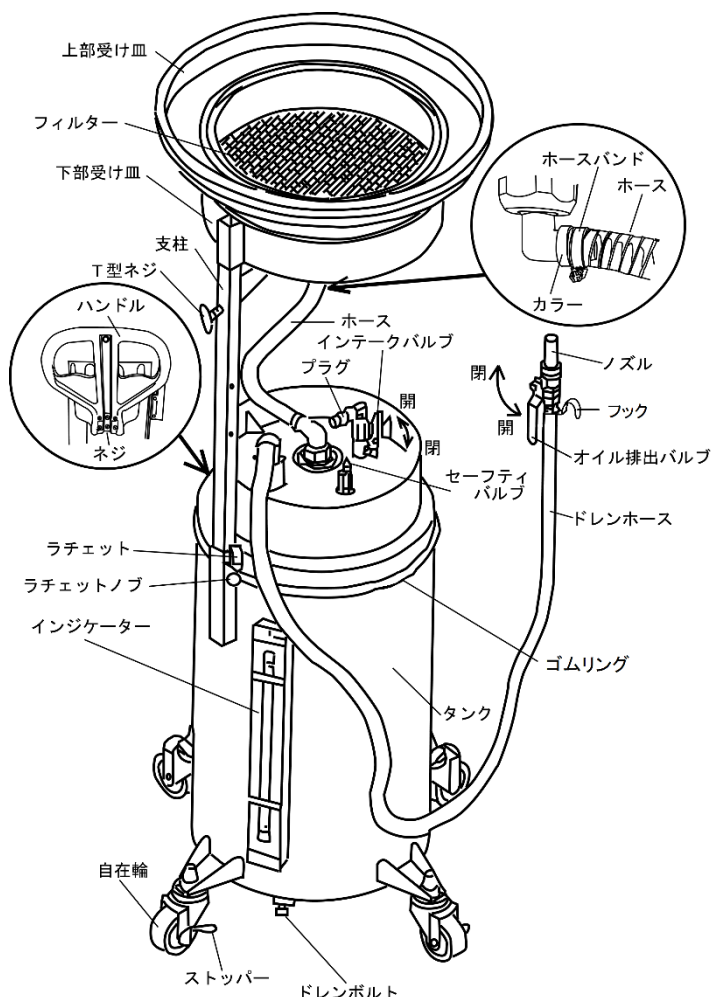


取扱説明書

廃油ドレン 品番：#37320200 型式：T-80C

1, 使用方法

※下図を参考に組み立てして下さい。



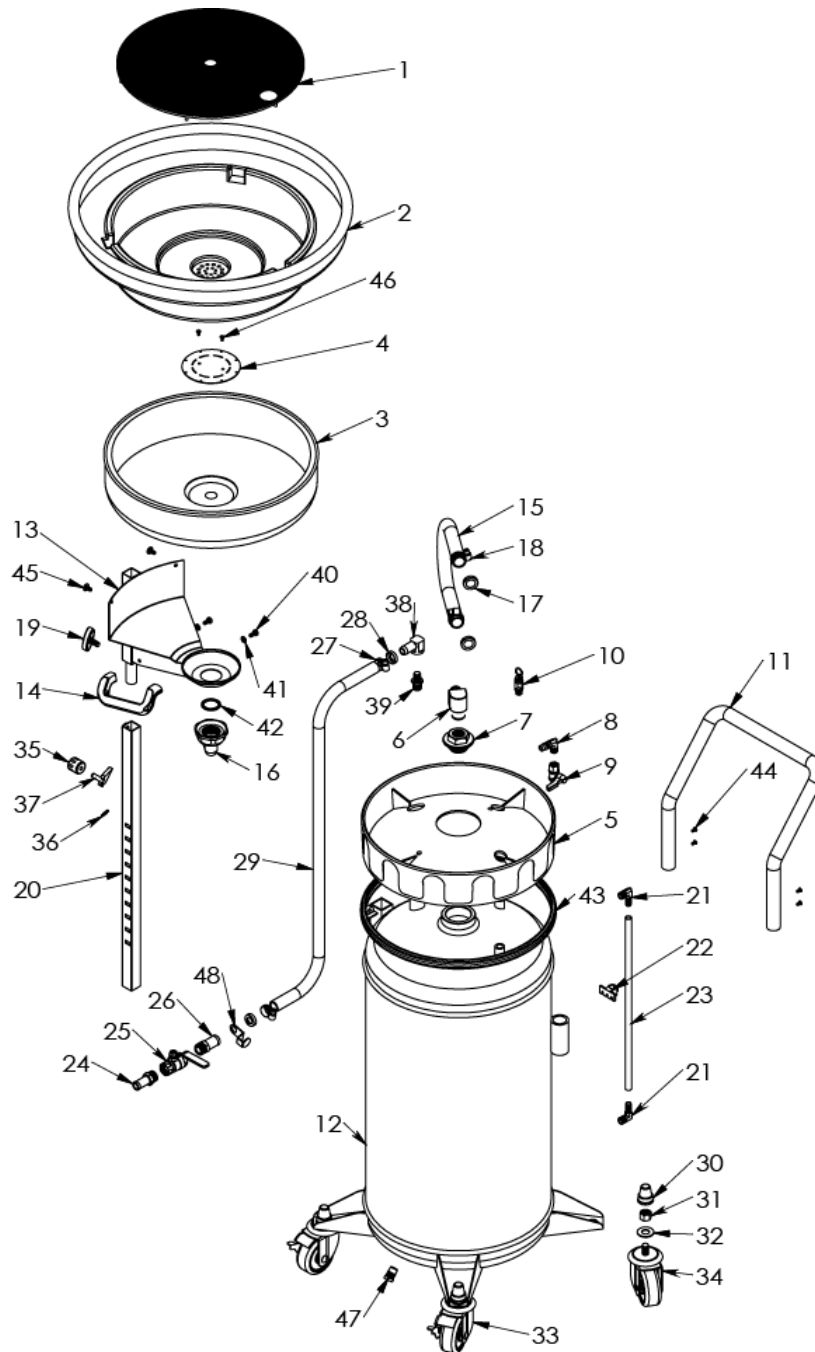
- ① 車輛をリフトで上げて下さい。
- ② 受け皿の高さを調整して下さい。受け皿を上げる場合は支柱(受け皿)を上方向に持ち上げて下さい。ラチェットが作動し、任意の位置で固定する事が出来ます。受け皿を下げる場合は、支柱(受け皿)を少し上方向に持ち上げ、ラチェットのロックを解除してから、ラチェットノブを時計回転方向に回して、ラチェットが支柱から離れた状態にして下さい。そして、支柱(受け皿)を下げて下さい。任意の位置でラチェットノブを離して、ラチェットを作動させ、支柱を固定して下さい。
- ③ T型ネジを反時計回転方向に回して緩めると、受け皿を支柱上で回転させる事が出来ます。位置が決まれば、T型ネジを時計回転方向に回して、確実に固定して下さい。
- ④ 本機を車輛の下に移動させて、自在輪のストッパーを時計回転方向に回して、自在輪を固定して下さい。
- ⑤ 上部受け皿にフィルターをセットして下さい。
- ⑥ オイル排出バルブを閉め、インテークバルブを開けて下さい。タンク下部のドレンボルトが確実に締まっている事を確認して下さい。
- ⑦ オイルを車輛から抜いて下さい。
- ⑧ タンク内の廃油を排出する場合は、プラグをコンプレッサーの配管と接続し、インテークバルブを開けてからオイル排出バルブを開けて下さい。ノズルからオイルが圧縮空気と共に排出されます。
- ⑨ タンク内に溜まっているオイルの量は、インジケーターで確認出来ます。インジケーターの上までオイルが溜まっていれば、直ぐにオイルを排出して下さい。
- ⑩ オイル排出後は、フックをゴムリングに掛けて下さい。
- ⑪ ドレンボルトを外せば、タンク下部よりオイルを排出する事が出来ます。

2, 注意事項

△注意 (この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又、製品に重大な破損を招く恐れのあるもの。)

- ① 本機の**使用空気圧は196kPa(2kg/cm²)**です。294kPa(3kg/cm²)以上の空気圧で使用すると、セーフティバルブが作動します。
- ② **タンクの最大容量は80L**です。それ以上の廃油をタンクに注入しないで下さい。
- ③ オイルが冷えた状態で本機を使用して下さい。
- ④ 本機を軟弱地、傾斜面では使用しないで下さい。又、使用時、及び保管時は必ず自在輪を固定して下さい。
- ⑤ 本機の清掃は、中性洗剤を使用し、シンナー等の可燃性物質、化学薬品は使用しないで下さい。
- ⑥ フィルターは使用毎に清掃して下さい。
- ⑦ 本機は廃油専用です。その他のオイル、薬品、水、クーラント(冷却水)、可燃性や危険性溶液の使用、保管は出来ません。
- ⑧ 本機のノズルを人に向けて使用しないで下さい。
- ⑨ 使用後は、全てのバルブが閉まっている事を確認し、コンプレッサーの配管をプラグから外して下さい。
- ⑩ ホースバンド等のネジの締結を、定期的に確認して下さい。
- ⑪ 本機の分解、修理、改造はしないで下さい。
- ⑫ ラチェット部分に、指や手等を挟まない様に、注意して下さい。
- ⑬ タンク内に廃油を入れる時は、必ずプラグからコンプレッサーの配管を外し、インテークバルブを開けて下さい(エア抜き)。インテークバルブを閉じたまま作業すると、受け皿から廃油が溢れます。

3, 部品分解図



1	フィルター	25	オイル排出バルブ
2	上部受け皿	26	アダプター
3	下部受け皿	27	ホースバンド
4	下部受け皿フィルター	28	カラー
5	タンク蓋	29	ドレンホース
6	アダプター	30	ソケット
7	逆止弁	31	ナット
8	プラグ	32	ワッシャ
9	インテークバルブ	33	ストッパー付き自在輪
10	セーフティバルブ	34	自在輪
11	ハンドル大	35	ラチェットノブ
12	タンク	36	ピン
13	じょうご	37	ラチェット
14	ハンドル小	38	コネクター
15	ホース	39	アダプター
16	コネクター	40	六角ネジ
17	カラー	41	ワッシャ
18	ホースバンド	42	Oリング
19	T型ネジ	43	ゴムリング
20	支柱	44	ネジ
21	エルボー	45	ネジ
22	ドレンホース固定具	46	ネジ
23	ホース	47	ドレンボルト
24	ノズル	48	フック